ビスカラ・ペルー新大統領の就任宣誓式

　２３日，国会本会議においてクチンスキー大統領の辞任が承認され，ビスカラ第一副大統領が昇格し大統領宣誓式が行われたところ，概要以下のとおり。

１　クチンスキー大統領の辞任承認

（１）２３日午前１１時頃，国会本会議においてクチンスキー大統領から提出された辞表が採決に付され，賛成１０５票を得，規定の過半数の賛成を得たことから，クチンスキー大統領の辞任が正式に承認された。クチンスキー大統領の辞任承認により，ペルー共和国大統領職が空席となった（憲法第１１３条第３項「大統領の辞任が国会により承認された場合，大統領職が空席となる。」）。

（２）なお，採決前，クチンスキー大統領の辞任を承認する国会決議文案の中に，同大統領を「祖国に対する裏切り者」（traidor a la patria）と宣言する旨の文言が盛り込まれていることが報じられた。これに対しクチンスキー大統領がツイッターで「かかる受け入れがたい決議が行われるのであれば，辞表を取り下げる。国会に対し弾劾決議案採決を行うよう求める。」旨発言し，一時緊張が高まった。しかし国会会派調整委員会（Junta de Portavoces）の決定で，この文言は決議文から削除され，最終的に予定通り辞表の採決が行われた。

２　ビスカラ大統領就任宣誓式

　大統領職が空席となったことを受け，大統領職の継承を定めた憲法第１１５条の規定（「大統領が一時的又は恒常的に不在の場合は，第一副大統領が大統領職を引き継ぐ。」）により，ビスカラ第一副大統領が大統領に昇格した。

　２３日午前１２時頃，ビスカラ第一副大統領は家族とともに公用車でリマ市内の自宅を出発し，外務省でアルホビン外相から勲章を授与された。その後，国会に移動し，国会本会議場での大統領就任宣誓式に出席した。

　午後１時頃，ビスカラ第一副大統領は国会において宣誓し，ガラレタ国会議長から大統領綬を授受され，正式に大統領に就任した。

３　ビスカラ大統領の演説

　就任後のビスカラ大統領の国会本会議における演説の概要は以下のとおり。なお，部分部分で国会議員から拍手が起きるなど，ビスカラ大統領の就任を歓迎するムードが醸し出された。

「この国難の時期に，自分は大統領として，ペルー及びペルー憲法に対する絶対的な忠誠を誓うとともに，我々が力を合わせればより良い未来を築けるという希望を皆様にお伝えしたい。独立２００周年を迎えるにあたり，我々は不安定な制度機構，あらゆる類いの不正行為，憎悪と対立，私益優先の政治といった，誰もが望まない，ペルーに多大な損害を与える問題を，党派の違いを超えて解決しなければならない。

　今後数日のうちに組閣が行われ，全く新しい閣僚のもと，新しい首相により政策が発表されるであろうが，本日は自分から新政府の４つの大方針を皆様にお伝えしたい。

（１）汚職対策

　汚職との闘いに一層の努力を払う。透明性を政府の大きな柱とし，法に反する行為はどこから発生したものであろうとも，またいかなるコストを払ってでも告発し闘う。

（２）制度機構の再建

　ペルーの課題に対処するために，制度機構の安定性を確立する。権力分立は民主主義の基礎である。祖国への敬意，寛容，愛をもって，違いを尊重しつつ国民の信頼を取り戻そう。政党，政治指導者，企業家，市民，皆で共に統治を再建しよう。

（３）経済政策

　ア　我々は整然とした，公正な成長を伴う安定した国を目指す。政府はペルーを信頼と安定という軌道に乗せることであり，良い点は残し，改善すべきところは直しつつ新しいことに取り組む。成長には更なる競争力，年齢・性を問わない質の高い雇用の創出が必要である。我々は民間投資，起業努力，中小企業を後押しする。

　イ　また，持続可能なインフラ建設が経済政策の柱となろう。ペルーが更なる経済競争力をつけ，地方への公正な分配を実現し，未完了となっている復興を成し遂げるには，インフラ建設が火急の課題である。

（４）社会政策

　ペルーの発展とはとりもなおさずペルー国民一人一人の生活の質が向上し，将来世代のためにより良い未来が得られることである。保健衛生，雇用創出，治安，そして自分がモケグアで行ったように，教育を政策の柱とする。

　自分はご列席の国会議員の皆様，そして全てのペルー国民に対し，我々が力を合わせれば，この難局を「ペルー・ファースト（Peru primero）」の新しい時代に転換することが可能であると提案したい。自分はペルーの英雄グラウ将軍の清貧さと祖国への奉仕精神に倣い，ペルーの未来の世代のため，対話，汚職との闘い，公正で民主的であり，統合を指向する発展へ向けて皆様とともに倦むことなく貢献する所存である。」

４　ビスカラ大統領就任後の反応

（１）ガラレタ国会議長（記者に対する発言）

　ビスカラ大統領の就任により一つの時代が終わり新しい時代が始まった。今後，立法府と行政府の関係は調和のとれたものとなるであろう。ビスカラ政権のもとで，国会がこれい以上汚職調査に乗り出す必要に迫られることのないよう期待する。また，新しい内閣が経済だけに集中するのでなく社会問題にも取り組むことを望む。

（２）ケイコ・フジモリ人民勢力党（ＦＰ）党首（ツイッター）

　今は一つになってペルーの課題に取り組む時である。個人として，またＦＰ党首としてビスカラ大統領の成功を祈念する。

（３）モラレス・ボリビア大統領（ツイッター）

　ビスカラ大統領に祝福の挨拶を送る。兄弟であるペルー国民にボリビアからの連帯の意を表する。ボリビアとペルーは兄弟関係にあり，偉大な祖国のための闘うという誇りを共有している。

（４）その他，ガルシア元大統領や与野党議員が，基本的にビスカラ大統領の就任を歓迎する旨発言した。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(了)